



2017 小学部だより

ねむの木

相模女子大学小学部
〒252-0383 相模京市南区文京 2-1-1

2017年度 6月号



紫陽花(アジサイ)の季節

校長 竹下 昌之

6月といえば梅雨(つゆ)ですね。梅雨の季節に咲く花、紫陽花(アジサイ)は別名「七変化」などとも呼ばれているように、朝から夕方までに緑から白、青紫色とさまざまな色に変わることでも有名です。学園内の至るところに咲く紫陽花は、雨上がりの時が一番美しく感じられます。

ところで、梅雨はどうして「梅の雨」と書くのか知っていますか？

梅の花が咲くのは2月頃です。梅雨という呼び名は、

梅の実が熟して黄色くなる頃に降り始める雨からきたという説。

じめじめして(湿度が高い)、カビを生えやすくする雨という意味からカビの雨「黴雨」(ばいう)といい、それが変化したという説などがあります。

また、もともと日本語には「つゆ」(露・水滴・汁)という言葉があって、今から300～400年前の江戸時代に梅雨を「ばいう」から「つゆ」と呼ぶようになったとの説もあります。

☆ ☆ ☆

つぎに、梅雨に関するお天気用語を紹介しましょう。

・「走り梅雨」

→5月下旬頃、数日間ぐずついた天気は、「梅雨の前ぶれ」・「梅雨の走り」・「前梅雨」・「迎え梅雨」とも言います。

・「入梅」(にゅうばい)、「梅雨入り」

→毎年6月11日～12日頃ですが、今年はいつ頃でしょうか。

※沖縄地方は5月10日頃で、北海道にはなぜか「梅雨」はないそうです。

・「空梅雨」(からつゆ)

→梅雨の季節なのにほとんど雨がふらないことをいいます。

・「梅雨の中休み」

→梅雨の最中にしばらく晴れ間が続くことをいい、6月20日前後によく現れます。

・「梅雨寒」(つゆざむ)

→梅雨の季節、曇りや雨で寒くなることを、4月の「花冷え」、5月の「若葉寒」に対して、こう呼びます。

★ここで問題です。

江戸時代の俳人、松尾芭蕉の有名な句「五月雨を集めてはやし最上川」の五月雨(さみだれ)とは、つぎの①～③のどれでしょう？

3～4月にしとしと降る雨。

晴れの多い5月にめずらしく降る雨。

梅雨まっただなかの6月頃降る雨。

※答えは文末に掲載

☆ ☆ ☆

この季節はむし暑いため、食べ物がくさりやすく、伝染病のはやりやすい時期です。

食事の前に手を洗うこと、食べすぎや飲みすぎに注意しましょう！

⇒正答③(旧暦5月)